

■福井経済同友会の概要

創 立 昭和 30 年 11 月 1 日
代表幹事 八木 誠一郎 (フクビ化学工業株式会社 代表取締役社長)
代表幹事 江守 康昌 (日華化学株式会社 代表取締役社長)
会 員 数 240 名 (平成 27 年 3 月 31 日現在)
住 所 〒910-0005 福井市大手 3-7-1 織協ビル 5 階 512 号室
TEL : 0776-29-2220 FAX : 0776-29-1380
E-mail : info@f-doyukai.jp URL : http://www.f-doyukai.jp

■基本的態度

- (1) 民主政治の擁護と経済界の自主性の確立を図る。
- (2) 経済社会に関する諸政策や課題につき関係当局に建議し、諮問に応じる。
- (3) 社会公共に対する企業責任の明確化。
- (4) 経営者の同志的結合の強化と次代経営者の育成を図る。
- (5) 国内外の良識ある各界指導層との交流・協力を行う。
- (6) 地域経営に協力する。

■政策提言 (H25 ~ H27)

- ・北陸新幹線延伸に向けた県都創生～急ごう！10年後の実現に向けて～(H27)
- ・大転換期における地域企業経営～たゆまぬイノベーションへの挑戦～(H27)
- ・福井創生にキャリア教育力を！(H27)
マッチング機能を付加したキャリア教育システムの確立を！
～学力、体力、志力の福井県へ～
- ・北陸新幹線金沢開業に向けた福井が取るべき対策(H25)
～ルックイースト & ルックウエストへ～
北陸の西玄関口として関西圏と北信越の結節点を目指す
http://www.f-doyukai.jp/070_teigen/teigen_01.php

「創造への挑戦」

～人口減少社会の中で新たな産業構造の創造に挑む～

人口減少対策を見据えた新たな福井の創造

- (1) 新たな地場産業の創造
～繊維・眼鏡に続く新たな地場産業を構築する～
- (2) 人口減少対策と人材育成
～時代は企業誘致から人材誘致へ～
 - ① Uターン促進と人材育成の強化
 - ② 女性活躍のステージ拡大と子育て女性の移住促進
- (3) 新たな観光ビジネス創造
～観光コンテンツを点から面へ～

新たな県都福井の創造

- ～統一したブランディングによるまちづくりと
“おもてなし”の推進～
- (1) 県都福井のまちづくり
 - ・若い起業家達による中心市街地の活性化促進
- (2) 観光客誘客と“おもてなし”の意識改革
 - ・ブランド戦略と来訪者目線でのブラッシュアップ

北陸新幹線について

- (1) 早期の福井県内延伸、京都・大阪延伸の実現
- (2) 敦賀以西ルートについて
 - ・京都駅経由の小浜回りルートの実現
- (3) 「福井発スーパー特急しらさぎ」を名古屋へ直結
- (4) 敦賀開業後も在来線特急の福井駅までの存続を

エネルギー政策

- ～原子力発電は重要なベースロード電源～
- (1) 福島早期復興と原子力発電の安定稼働
- (2) 廃炉ビジネスの地元活用促進

企業経営委員会

「ストップザ・人口減少」の実現に向けて、地域産業・企業の創生のため、平成 27 年の提言『大転換期における地域企業経営』を基に我々がイノベーションを継続し、第 2 創業や域内投資により地元の雇用拡大に寄与する経営を研究する。また、Uターン・移住を増加させるために当会会員が属する企業の発信力を強化し、福井県が提案している「ふるさと企業減税」を他地経済同友会へ発信する。

次世代イノベーション部会

主に若手経営者、新入会員を対象に講演会やセミナーを開催し、参加者の自己啓発や資質向上、会員相互の交流と親睦を図る。当会活動の理解を深めるためのオリエンテーションとしての位置付けもあり、本会全体の活性化の起爆剤としての役割も果たしていく。また、入会を検討している方々には積極的に門戸を開放し、入会に繋げていく。

人づくり委員会

福井創生を実現するために最も重要な資源は人材である。次代を担う若者や子供たちが、ふるさとへの熱き思いや将来への高い志を持ち、福井の地で活躍するための「人づくり」に向けて取り組んでいく。特に、Uターン・移住の増加につながる福井の産業、地元企業に対する関心を高める教育の在り方について検討する。

地域経営委員会

人口減少社会を迎えるにあたり、先の提言(北陸新幹線延伸に向けた県都創生)を踏まえ、県都中心市街地活性化にむけた諸施策の検討を行う。加えて、海外も含め県外からの人口流入の拡大ならびに県民の生活満足度の実感に結びつく、地域資源としての「福井らしさ」の再構築に取り組む。

おもてなし委員会

舞鶴若狭自動車道、中部縦貫自動車道の開通、北陸新幹線の金沢駅開業等、速交通インフラが充実し、県内各地でそれぞれに誘客策の準備も始まり、交流人口の増加に期待が高まっている。そのような中で、福井県の集客力、観光客の満足度を上げるために、観光先進県と比べて何が足りないのかを探る。成功事例、失敗事例を研究し、より効果的な「福井型おもてなし」を提案する。

政策研究委員会

少子高齢化と人口減少、地政学的リスクの増大など今日の日本を取り巻く環境変化のスピードは非常に早く、これまでのやり方では対処できなくなっている。本委員会では、経営者としての知見を活かしながら、地域創生に関わるタイムリーかつ先見性のある政策提言に取り組むなど積極的に情報発信する。

総務交流委員会

会員相互の交流・親睦と啓発を深め、本会の求心力を高めるため、他地区経済同友会や他経済団体との交流活動並びにタイムリーで魅力ある

行事の企画立案・運営に取り組む。また、当会の発信力を高めることによって、Uターン・移住人口の増加に繋げる研究を行い、以て会員サービスの向上と充実を目指す。会勢発展のために会員増強に取り組む。

■交流活動

- (1) 会員相互の交流活動
 - 定時総会・記念講演 (5月)
 - 会員懇談会 (7月～8月)
 - 例会 (年4～5回)
 - 来年を語る会 (12月)
 - 春季・秋季懇親ゴルフコンペ (年2回)
- (2) 他経済同友会との交流活動
 - 全国経済同友会セミナー (毎年4月、全国各地で開催)
 - 関西地区経済同友会会員合同懇談会 (毎年7月、西日本各地で開催)
 - 西日本経済同友会大会 (毎年10月、西日本各地で開催)
 - 経済同友会中央日本地区会議 (毎年10～11月、中部地区で開催)
 - 経済同友会北陸会議 (毎年9月、北陸3県で開催) 他

■会員サービス

- (1) 講演会や各種セミナーの実施
- (2) 会報誌「あけぼの」の発行。

■海外視察

- 米国最新ビジネス調査
- イタリア視察
- ベトナム・タイ産業視察ミッション
- 台湾最新ビジネス視察
- ベトナム・ハノイ海外視察
- シンガポール・ジャカルタ海外視察 他